

井戸端だより

第9号

発行日 1995.3.3

発行 ぐらしの学習会

— ぐらしの学習会 総会を行いました —

1995年1月23日の総会で、代表に 林智子さん。

会計に 後藤陽子さんが決まりました。

'94年度の活動報告と会計報告と共に、ひとりひとりが
昨年の反省も含め、自分の思いを語りあいました。

今年度の活動として

毎回テーマを決めて そのことについて語り、学びあう場
にしていきたい。

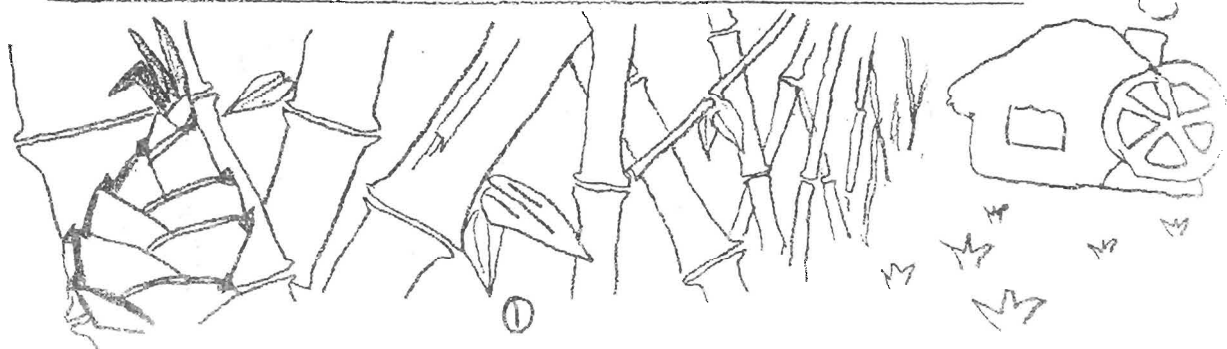
泉については — 活動を継続して行っていく。

昨年にと続き “泉” 周辺のゴミ拾いと 春と秋の
二回行う。(楽しみをどう取りあこなで)

— 2月定例会では — 1995.2.13(月) 町民会館

総会に出席できなかったメンバーの意見をきくことができ
ました。その中で、ゴミ問題 老人福祉 教育に関すること。
井戸端会議の原点に戻って、心のうちを語り合いました。

★定例会は 毎月第3月曜日の午後おこなうことになりました。



「三ヶ村泉」改修計画

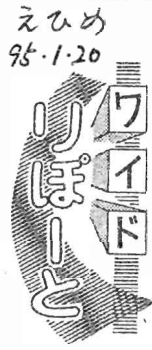
重信

平野部で失われた自然が残っている三ヶ村泉



「松山平野に残る貴重な自然」として、温泉郷重信町田窪にある「三ヶ村（さんかそん）泉」を保存しようという動きが起きている。町内の主婦のグループが勉強会を開いたり、泉の絵はがきを制作など地道に取り組みしており、反響は徐々に広がっている。

三ヶ村泉は、同町牛瀬



北野田、南野田の三地区の水田を潤す主要な水源。水が不足しがちな重信町では江戸時代、水確保のため多くの泉を掘った歴史があり、同泉もその一つだ。

泉には清らかな水が流れ、ハヤ、カワムツ、カワニナなどがある。ハグロトンボが舞い、水草も豊富。松山平野で極めて少なくなったオオカワト

ンボの貴重な生息地にもなっている。泉部分と下流敷野までの水路は、土手の崩壊を防ぐための雑木林に囲まれ、水路は石積みで造られている。昔ながらの形態が、多様な生態系を守ってきた。泉の保存を提唱、活動しているのは「重信くらしの学習会」（丸井美恵子代表、十八人。町内

保存の第一歩として昨年秋、三ヶ村泉の自然を知ってもらおうと、泉の写真を絵はがきやセットを作製。人づてにフリーマーケットなどで販売した。評判が良くて増刷もした。収益は泉の維持管理費用に充てる考えだ。メンバーは町内の別の泉でゴミ拾いを実施するなど積極的ににかかわろうと

した。収益は泉の維持管理費用に充てる考えだ。メンバーは町内の別の泉でゴミ拾いを実施するなど積極的ににかかわろうと

は、水路も泉も生計にかかわる農業施設ととらえている。維持のため定期的な草刈り、底の砂をさらう。石積みが崩れると直さなければならぬ。だが、近年は後継者不足で人が集まらなくな、作業は大変という。三ヶ村泉は平成四、五年度にかけて、下流の水路が町の事業でコンクリート張りに改修された。土地改良区役員は「コンクリートの方が楽だ。自然が大切なのは分かるが、だれが管理しているのかも考慮してほしい」という。学習会の人たちは意識のズレがある。さらに、水路上流部分の改修計画もあり、自然保護に熱心な人たちが心配させている。同町産業課は「管理者の土地改良区の意向を聞きながら進めたいが、時期や工法は未定」と説明している。

これに対し、学習会も、本腰を入れて取り組むべきだ。

（地方部・神田未知生）

保存求める声広がるが… 管理側と意識のズレ



泉の絵はがきによせて パートII

★ 書店で美しい水辺のポストカードを見つけました。
てっきり信州の方の写真かと思ったのに、よく見ると重信川流域にあると書かれています。

地図にもものっていない、この三ヶ村泉はどこにあるのでしょうか。ぜひ訪ねてみたいと……。 (中略)

私は木や草を友達のように思っていますので、環境をそこねるようなことはしませんから、その点はどうぞご安心を。

★★ かつて飲料水だった小川、ふなも川エビもしじみもカニも住んでいたし、
蛍も乱舞していた小川。

今はコンクリートの排水溝になってしまった現実が悲しいです。

同じ生き物が生きられる地球であって欲しい。

今回はお二人の便りの一部を紹介させていただきました。

私も先日、冬枯れの泉に行ってきました。昨年の夏に訪ねた泉の周辺が一変して
いました。高速道路の周辺整備なのか、“泉”の廻りの水路が三面コンクリート
に変わっている所が多くみられました。

細いあぜ道もアスファルトで固められ、これじゃあ道草をする気にもなれませ
ん。

くぬぎ林もだいぶ切り倒され、かろうじて泉の周辺だけが残され、ゴミだけが
よけいに目立っていました。

これからどのような方向で“泉”のことを考えていったらよいのか。水利組合
の人との話し合い、そしてまた、行政の取り組みを聞くことなど……。

その一方で、“泉”のことを大切に思っている他のグループの人々や地元の人
々をまきこんでの活動ができないものか、と。

いろいろなことを考えさせられました。

(2月24日 H. M)



くらしの学習会 会計報告
(1994.1~1994.12)

収入の部

前年度繰越金		156円
会費	38,	000円
キルト売上カンパ	4,	000円
廃品回収	3,	990円
原発学習会より	6,	735円
バザー	3,	990円
コーヒー売上カンパ	6,	690円
個人カンパ	2,	000円
フリーマーケット収益	2,	590円
収入合計	68,	151円

支出の部

印刷代・コピー	12,	300円
郵送料	8,	020円
本代	1,	200円
写真代	2,	286円
ビデオ	1,	200円
手土産	3,	760円
ゴミ拾い豚汁材料費	2,	039円
ゴミ袋		791円
支出合計	31,	696円
差引合計	36,	455円 (次年度繰越)

絵はがき売り上げ数 (2・28現在)

	第一刷	第二刷	合計
制作実数:	1,048部	1,000部	2,048部
売り上げ実数:	867部	416部	1,283部
贈呈・見本等:	91部	60部	131部
残部	90部	524部	614部

収益 (2・28現在)

売上 (含カンパ)	451,620円
製作費	351,900円
(第一刷226,600円、第二刷125,300円)	

純収益

99,720円

新たな広がりネットワークを！

この4月1日、夫の転勤にともない、10年近く住み慣れた重信から高知に移ることになりました。「くらしの学習会」を、みんなではじめて2年3ヵ月。少し足元が見え初めてきたような気がしてきた時に、また、いい仲間がたくさんできて、何もかもこれからという時に、重信を離れるのは、本当に残念です。

まわりからは「夫を単身赴任させれば」という声もあり、それらの声はうれしかったのですが、夫の私への「高知でもう一度本職（言語療法士）へ復帰を」の思いに動かされて、最終的に高知行きを決心しました。高知では本職へもう一度チャレンジするのと同時に「くらし」の問題にも目をむけ、行動し続けたいと思います。（またまた忙しくなりそう！！）

重信で、また愛媛で、本当に多くの人々に支えられ、お世話になりました。この間、経験し、学んだことは一言では言えないほどたくさんあります。強いて言うとしたら、「いい仲間と一緒に行動する楽しさ」です。そして「仲間さえいれば、どんなことにでも立ち向かう勇気がわいてくる」ということです。

地理的には百十数キロ離れることとなりますが、これからみんなと新たな広がりネットワークを作ることができると思うとワクワクしてきます。どんなネットワークになるでしょうね、石鎚の両側で……？！

みんなのますますの研鑽と奮闘を期待しています。

では、みなさん、私の好きなことばで、auf Wiedersehen！
（また会いましょうね！）

丸井 美恵子

あーと、いう間の二年余りでしたね。

代表は昔々様でした。高知に行かれとも、
新たなネットワークづくりにも！！そしてまた我が
くらしの学習会への「高知からの発信」を、
お忘れなく！！

それでは、きょうの日はさようなら

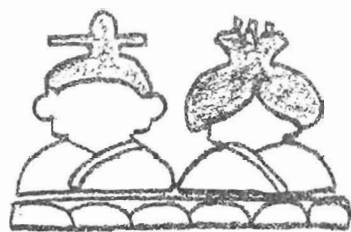
また会う日まで

《今後の予定》

☆3月の例会のおしらせ

とき：3月20日(月) 13:00分より

ところ：林家において



今年一年こんなことをやってみたい。今思っていること
は「語りう会」

尚、この日は、丸井さんの送別会も一緒にやりたい
と計画しています。会員、購読会員の人たちの参加
をお待ちしております。

☆4月末日 泉のゴミ拾い あつま—水

大人も子どもたちも、沢山の人の参加を!!
呼びかけのチラシ作りを募集しています。

= 会員募集 =

☆くらしの学習会では、一緒に活動する仲間を募集しています。

会費は年2000円。購読のみ希望の方は1000円です。

問い合わせ先：くらしの学習会

事務局 林 TEL 64-6956

絵はがき担当 松久 64-0284

編集後記

♪ どこかで春がうまゆる

どこかで水が流れた♪

あたたかさに誘われて「泉」を訪ねてみませんか。

(A.M H.M)

